SteelSet™
おめでとうございます！あなたは今、多くの人が注目する世界で一番精度の良いヘッドセットを購入されました。

SteelSetヘッドセットは通常のヘッドセットとは異なり、取り扱いには細心の注意が必要です。
必ず下記の重要事項をご確認ください。

重要事項

SteelSetヘッドセットは通常のヘッドセットより深い内径を必要とする17mmのカップスカートを使用します。（通常のヘッドセットは10.67mm）カップリムーバルツールをカップスカートの後ろ側に入れられるように、内径の深さは、スカートの全体の深さ1.25インチ（~32mm）の最小でも0.25インチ（~7mm）を超える必要があります。例えそうであったとしても、ヘッドチューブの内部の形状によってはSteelSetの取り外しを不可能にさせる場合や、一部のフレームにはSteelSetと互換性がない場合があります。
ヘッドチューブをリーミングして最初のコンディションより深いボアを作ってしまうとフレーム保証が効かなくなり、完全にあなたのフレームを弱くさせてしまいます。SteelSetを装備させる前、そしてヘッドチューブをリーミングする前にフレームメーカーにリーミングが可能かどうかを、必ず問い合わせてください。

取り付け

注意：完璧に取り付けるために、クリスキング社製のヘッドプレスアダ

プターキットの使用を推奨します。
すべてのヘッドセットプレシングツールやセッティングツールに対応するようにサイズは色々あります。私たちのヘッドプレスアダプターはヘッドチューブとカップを正確に位置を揃え、直接カップに均一にプレッシャーを与えることでダメージを与えません。クラウンレースアダプターはクラウンレースセッティングツールからコニカルベアリングの接触面を守ることによりベースプレートに対するダメージを防ぎます。

ヘッドチューブの下準備とベアリングカップの取り付け
・ヘッドチューブの適切な下準備はヘッドセットの性能を最高値までにあげてくれます。エンドが直角であり、そしてお互いに平行になるように、そして内径が適切な幅であることを確実にするために必要に応じてヘッドチューブをリーミングそしてフェーシングしてください。（下記のチャートを参照）
・取り付けの際に、カップの金属部分が削り取られないように小さなヤスリ、もしくは紙やすりを使用し、鋭角なエッジやギザギザ部分を注意深く取り除き、ヘッドチューブの上下の内側を少しだけ面取りをしてください。
・カッティングオイル、削り屑、かけらなどをきれいに取り除いてください。
・適切なプレスフィットは締めしろが0.1mm（0.004インチ）より大きくならないようにしてください。下記にあるチャートから正しいヘッドチューブのボアサイズを確認してください。ヤスリがけをせず、もしフィットさせるのに必要であればカップの中身を外してください。
・私たちのアダプターについているヘッドセットインスタレーションプレスを使用し両方のベアリングカップを押し込んでください。ヘッドチューブのエンドに対して平行にカップが装着されているか確認をしてください。

フォークの下準備とベースプレートの取り付け
・フォークの適切な下準備もまたヘッドセットの性能を最高値まであげてくれる不可欠な要素となります。

ステアチューブとフェースが直角であり、プレスの直径が適切な幅であることを確実にするために必要に応じてクラウンレースシートをリーミングそしてフェーシングしてください。（下記のチャートを参照）
・カッティングオイル、削り屑、かけらなどをきれいに取り除いてください。適切なプレスフィットは締めしろが0.1mm（0.004インチ）より大きくならないようにしてください。下記にあるチャートから正しいクラウンレースシートサイズを確認してください。
・コニカルサイド（円錐側）を上にし、ベースプレートをステアチューブにスライドさせてください。ベースプレートに対してベースプレートインスタレーションアダプターの斜角部分をくっつけ、ベースプレートをセットするためにクラウンレースセッティングツールを使用してください。

リームの深さ：32mm
ヘッドチューブ内径：33.9mm
クラウンシートOD：30.1mm

ステアチューブのカッティングとスターナットの取り付け
・フォークをフレームに装着させてください。
・ベアリングキャップからオーリングを取り外し、ベアリングキャップ、スペーサー、ステムをステアチューブの上にスライドさせてください。ステムの上に見出しラインを書き込んでください。
・ステムを取り除き、最初のラインより3mm下にもう一つのラインを書き込んでください。下のライン部分を弓のこで切断してください。
・ステアチューブの内側と外側にある尖ったエッジをすべて取り除いてください。ヤスリと紙やすりを使い、オーリングを取り付ける際シアリングを避けるためにチューブの外側を丸くしてください。
・スターナットをインスタレーションツールに回し入れてください。（もしインスタレーションツールが無い場合、スターナットにボルトをちゃんと装着させ、ステアラーの上から15mm下までスターナットを入れてください。）
・ソフトハンマー、もしくはマレットを使って、ツールがステアラーの

上部に接触するまでステアラーチューブの中にまっすぐスターナットを入れてください。
・スターナットからツールを巻き戻してください。
・ステアラーをカッティングする場合、そしてスターナットを取り付ける場合は怪我をしないように最大の注意を払ってください。

最後の組み立てと調整
・ベアリングキャップにオーリングを再度取り付けてください。
・フレームにフォークを入れてください。
・オーリングを傷つけないように、ベアリングキャップ、スカフワッシャー、スペーサー、そしてステムをステアラーの上にスライドさせてください。ステムの上にステムキャップを置き、キャップを通してスターナットへネジを回し入れてください。4〜10in.-lbトルク／4608kgf・cm~11520kgf・cmトルク（最大で15in.-lbトルク／17280kgf・cmトルク）の力で締めてください。
・ステムの位置を合わせ、ステムの製造会社の説明書通りに締め付けてください。
・ヘッドセットが適切に調整されているかをチェックしてください。適切に調整されたかを確かめるためには、フォークが遊びやひっかかりが無い状態でスムーズに回ります。多少の誤差は数回の乗車でおきますが、必要であればまた再度調整をしてください。

注意：新しいシールは最初の５０〜１００時間の使用中に少しばかりの抵抗があります。こするような感覚や、縛りつけられるような感覚を感じた場合は、不適切な取り付け、もしくはステムがちゃんとフェーシングされていない状態であることが結果としてあげられます。

メンテナンス
クリスキング社のヘッドセットは最大の寿命を提供するようにデザインされています。ウェットコンディションの場合は６ヶ月ごとにメンテナンスをし、ドライコンディションの場合は最低でも５年に１回を目安にメンテナンスをしてください。

時折の調整の他に、ベアリングの洗浄、そしてグリーシングをすることが求められます。ライディングの仕方によりヘッドセットのメンテナンスの必要性が変わります。

ベアリングサービス
・私たちのシールドベアリングにはシールをその場所にとどめている取り外し可能なスナップリングが付いています。ベアリングに到達するために、注意深くスナップリング、そしてシールを取り外します。ソルベントを吹きかけ、乾かし、防水グリースを塗り、そして再度組み立て直してください。傷などが付いていない限り、シールとスナップリングは再利用してください。
・必要であれば、新しいシールやスナップリングは近くのディーラー、もしくは直接クリスキング社にて購入することができます。

注意：シールドベアリングにおいてよくある問題のほとんどが水が原因です。ブリーザ（通気口）または他の穴からフレームに水が入った場合、最終的にはヘッドチューブ内部へ水が侵入し、ヘッドセットのベアリングへ到達します。高圧洗浄、雨の日の乗車もしくは自転車を運ぶ際、ライディング中に長い間水に浸っている場合は上記のような問題が発生します。ステンレスのベアリングなので腐食には至りませんが、グリースの悪化は避けられません。可能ならばこのような状況を避けるか、もしくはウェットコンディションに対するメンテナンスを怠らないようにしてください。

取り外しと取り付け直し
・スタンダードカップリムーバルツールを使ってヘッドチューブからカップを取り外してください。ツールはベアリングに接触させるのではなく、カップの内側にあるエッジに接触させるようにしてください。
・フォークからベースプレートを取り外すために、1/4インチまたは3/8インチのドリフトパンチを使用し、曲がったり折れたりする可能性を少なくするために交互にフォーククラウンの両サイドを叩いてください。
・フォークからベースプレートを取り外した後、傷があるかどうかを注

意深く観察してください。少しでも曲がっている場合は取り付け直しが出来なくなります。もし曲がっていなくても、ベアリングの接触面がダメージを受けていた場合は、交換してください。
・ベースプレートや他のパーツは近くのディーラー、もしくは直接クリスキング社にて購入可能になっています。

保証
クリスキング社は、ヘッドセット購入日から１０年間、欠陥があった場合は、部品交換、そして修理を無料で行う事を約束しています。クリスキングが素材や技術に欠陥があると認めた場合、どのようなクリスキングのプロダクトも、工場へ送料が支払われた状態でデリバリーされていれば、修理または部品交換されるようになっています。この保証は、使い方を間違ったがためのダメージ、乱用、改造、放置、通常の消耗、事故、メンテナンスの失敗、製品の使われ方が意図しない方向で使用された場合は保証されません。

もし欠陥が見つかった場合、私たちの全責任において、無料の修理、または交換をいたします。クリスキング社は必然的なダメージなどにおいては責任を負いません。シリアルナンバーの変更、紛失においても保証はされません。この保証宣言は他の保証書の代わりとして存在しますが、ディーラー側が作る保証書などの表示はクリスキング社と関係はありません。この保証書は法律の元で守られ、州によって様々な権利が存在いたします。

KING CYCLE GROUP
2801 NW Nela Street
Portland, Oregon 97210

800.523.6008
http://www.chrisking.com
email: info@chrisking.com
Rev. 8/04-A